

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2020年2月12日
【四半期会計期間】	第74期第3四半期（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）
【会社名】	イサム塗料株式会社
【英訳名】	Isamu Paint Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 北村 倍章
【本店の所在の場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6458 - 0036
【事務連絡者氏名】	総務部長 糸洲 治夫
【最寄りの連絡場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6453 - 4511
【事務連絡者氏名】	総務部長 糸洲 治夫
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第73期 第3四半期連結 累計期間	第74期 第3四半期連結 累計期間	第73期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年12月31日	自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	6,014,882	5,669,567	7,945,368
経常利益 (千円)	710,157	717,564	831,775
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	481,874	497,287	555,213
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	445,813	534,252	545,673
純資産額 (千円)	14,835,835	15,372,169	14,935,695
総資産額 (千円)	18,021,832	18,334,948	18,308,335
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	252.72	260.82	291.18
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	80.3	81.8	79.6

回次	第73期 第3四半期連結 会計期間	第74期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 2018年10月1日 至 2018年12月31日	自 2019年10月1日 至 2019年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	94.60	99.32

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含んでおりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で米国政権の政策動向や通商問題、欧州における政治不安の再燃、中東情勢に起因する原油価格、消費税率引上げ後の消費マインドの動向、相次ぐ自然災害の経済に与える影響など、当社グループを取り巻く環境は予断を許さない状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、自動車補修用市場でのシェア拡大を図るため、顧客ニーズに沿った環境対応型塗料や高機能性塗料で販路拡大に注力するとともに、大型車両分野や工業用分野などの新規市場開拓や建築用塗料の受注増加に向けた積極的な営業活動を展開いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績は以下のとおりとなりました。

財政状態

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、資産は27百万円増加、負債は4億10百万円減少、純資産は4億36百万円増加しました。

資産の増加の主なものは、有価証券3億2百万円、投資有価証券1億28百万円、減少の主なものは現金及び預金1億80百万円、受取手形及び売掛金1億62百万円であります。

負債の減少の主なものは、未払法人税等1億12百万円、役員退職慰労引当金91百万円であります。

また、純資産の増加の主なものは、利益剰余金4億2百万円となっております。

経営成績

当第3四半期連結累計期間の売上高は、56億70百万円（前年同四半期比5.7%減少）となりました。また、利益面におきましては、営業利益は5億67百万円（前年同四半期比4.5%増加）、経常利益は7億18百万円（前年同四半期比1.0%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億97百万円（前年同四半期比3.2%増加）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

塗料事業は、売上高55億93百万円（前年同四半期比5.8%減少）、営業利益は5億30百万円（前年同四半期比5.4%増加）であります。

その他は、売上高77百万円（前年同四半期比0.9%減少）、営業利益は37百万円（前年同四半期比7.1%減少）であります。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題については、重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1億13百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	9,600,000
計	9,600,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在発行数 (株) (2020年2月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,400,000	2,400,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	2,400,000	2,400,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年10月1日～ 2019年12月31日		2,400,000		1,290,400		1,209,925

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 493,300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,893,400	18,934	-
単元未満株式	普通株式 13,300	-	-
発行済株式総数	2,400,000	-	-
総株主の議決権	-	18,934	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が71株含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
イサム塗料株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号	493,300	-	493,300	20.55
計	-	493,300	-	493,300	20.55

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清稜監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,820,251	4,639,824
受取手形及び売掛金	2,447,726	2,285,578
有価証券	900,022	1,201,969
商品及び製品	915,250	966,000
仕掛品	124,250	128,554
原材料及び貯蔵品	186,622	232,614
その他	40,283	49,477
貸倒引当金	12,200	9,981
流動資産合計	9,422,204	9,494,035
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,755,970	2,766,208
減価償却累計額	1,681,981	1,728,726
建物及び構築物(純額)	1,073,989	1,037,482
機械及び装置	567,149	574,302
減価償却累計額	420,161	449,051
機械及び装置(純額)	146,988	125,251
工具、器具及び備品	426,997	434,560
減価償却累計額	403,396	405,957
工具、器具及び備品(純額)	23,601	28,603
土地	1,344,467	1,344,467
リース資産	59,569	79,554
減価償却累計額	38,649	46,453
リース資産(純額)	20,920	33,101
その他	-	282
減価償却累計額	-	71
その他(純額)	-	211
有形固定資産合計	2,609,965	2,569,115
無形固定資産		
ソフトウェア	15,075	11,406
施設利用権	1,017	576
電話加入権	6,555	6,555
リース資産	823	111
無形固定資産合計	23,470	18,648
投資その他の資産		
投資有価証券	4,256,346	4,384,577
長期預金	1,200,000	1,200,000
保険積立金	601,177	525,925
繰延税金資産	179,482	127,556
その他	23,948	21,968
貸倒引当金	8,257	6,876
投資その他の資産合計	6,252,696	6,253,150
固定資産合計	8,886,131	8,840,913
資産合計	18,308,335	18,334,948

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	435,687	387,190
電子記録債務	1,298,212	1,259,090
リース債務	11,318	10,173
未払金	207,722	163,840
未払法人税等	130,596	19,085
未払消費税等	25,511	35,743
前受金	4,103	4,177
預り金	73,646	106,856
賞与引当金	116,007	34,922
その他	44,726	31,238
流動負債合計	2,347,528	2,052,314
固定負債		
長期預り保証金	262,141	265,935
リース債務	12,405	26,326
繰延税金負債	32,591	44,215
役員退職慰労引当金	163,257	72,362
修繕引当金	82,500	88,125
退職給付に係る負債	472,218	413,502
固定負債合計	1,025,112	910,465
負債合計	3,372,640	2,962,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,210,130	1,210,130
利益剰余金	12,777,653	13,179,608
自己株式	981,269	981,269
株主資本合計	14,296,914	14,698,869
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	269,595	293,223
その他の包括利益累計額合計	269,595	293,223
非支配株主持分	369,186	380,077
純資産合計	14,935,695	15,372,169
負債純資産合計	18,308,335	18,334,948

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	6,014,882	5,669,567
売上原価	4,099,700	3,795,505
売上総利益	1,915,182	1,874,062
販売費及び一般管理費	1,372,616	1,307,019
営業利益	542,566	567,043
営業外収益		
受取利息	641	305
有価証券利息	13,187	10,439
受取配当金	18,531	18,831
受取賃貸料	39,069	38,907
塗装情報サービス会費	66,119	63,122
負ののれん償却額	5,786	-
貸倒引当金戻入額	1,853	259
その他	35,215	20,019
営業外収益合計	180,401	151,882
営業外費用		
支払利息	165	151
支払補償費	6,360	684
たな卸資産廃棄損	4,841	-
その他	1,444	526
営業外費用合計	12,810	1,361
経常利益	710,157	717,564
特別損失		
たな卸資産廃棄損	-	19,291
災害による損失	1,516	730
特別損失合計	1,516	20,021
税金等調整前四半期純利益	708,641	697,543
法人税、住民税及び事業税	175,030	135,425
法人税等調整額	37,625	51,498
法人税等合計	212,655	186,923
四半期純利益	495,986	510,620
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,112	13,333
親会社株主に帰属する四半期純利益	481,874	497,287

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	495,986	510,620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50,173	23,632
その他の包括利益合計	50,173	23,632
四半期包括利益	445,813	534,252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	431,704	520,914
非支配株主に係る四半期包括利益	14,109	13,338

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形および電子記録債務

四半期連結会計期間末日満期手形および電子記録債務の会計処理については、手形交換日又は決済日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形および電子記録債務が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
受取手形	164,161千円	138,144千円
支払手形	1,377千円	554千円
電子記録債務	94,056千円	76,601千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費も含む。)及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
減価償却費	106,839千円	100,484千円
負ののれん償却額	5,786千円	-千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	47,672	25	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金
2018年11月8日 取締役会	普通株式	47,668	25	2018年9月30日	2018年12月10日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	47,666	25	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金
2019年11月7日 取締役会	普通株式	47,666	25	2019年9月30日	2019年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	5,937,625	77,257	6,014,882	-	6,014,882
セグメント間の内部売上高 又は振替高	62	-	62	62	-
計	5,937,687	77,257	6,014,944	62	6,014,882
セグメント利益	502,368	40,198	542,566	-	542,566

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	5,592,998	76,569	5,669,567	-	5,669,567
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	5,592,998	76,569	5,669,567	-	5,669,567
セグメント利益	529,682	37,361	567,043	-	567,043

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純利益	252.72 円	260.82 円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	481,874	497,287
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	481,874	497,287
普通株式の期中平均株式数(株)	1,906,745	1,906,629

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第74期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)中間配当については、2019年11月7日開催の取締役会において、2019年9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額.....47,666千円
 1株当たりの金額.....25円
 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2019年12月10日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月2日

イサム塗料株式会社

取締役会 御中

清稜監査法人

代表社員 公認会計士 船越 啓仁 印
業務執行社員

業務執行社員 公認会計士 森本 了太 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイサム塗料株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イサム塗料株式会社及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。